

明監報第6号

市議会事務局定期監査及び行政監査結果報告のこと

地方自治法第199条第1項及び第4項並びに同条第2項の規定により、みだしの監査を実施したので、その結果を別紙のとおり報告する。

平成27年（2015年）3月24日

明石市監査委員 林 郁 朗

同 星 川 啓 明

同 辰 巳 浩 司

同 寺 井 吉 広

市議会事務局定期監査の結果について

I 監査の対象

市議会事務局
総務課 議事課

II 監査の期間

平成27年1月6日から平成27年3月24日まで

III 監査の範囲

平成26年10月末日現在における財務に関する事務

IV 監査の方法

市議会事務局各課から予算の執行状況、物品の管理状況等について、資料の提出を求め、関係諸帳簿等について調査確認し、必要に応じて関係職員の説明を聴取し、財務会計処理が法令等に基づき適正に行われているか、事務の執行が計画的かつ効率的に行われているかについて監査を実施した。

監査の対象事項としては、以下のとおりである。

- (1) 予算の執行等
- (2) 収入事務
- (3) 支出事務
- (4) 補助金
- (5) 貸付金
- (6) 契約事務
- (7) 財産管理
- (8) 文書事務
- (9) 出張命令

V 監査委員の除斥

地方自治法第199条の2の規定により、同条に規定する事件については、辰巳浩司監査委員及び寺井吉広監査委員を除斥した。

VI 監査の結果

今回の監査は、財務に関する事務の執行状況を中心に実施したのであるが、おおむね適正に執行されているものと認められ、事務処理上、特に指摘する事項はなかったが、政務活動費について、次のとおり要望する。

なお、別途改善の検討を指示した指摘事項については、改善措置を講じられたい。

1 政務活動費について

政務活動費は、明石市議会政務活動費の交付に関する条例及び同規則に基づき、市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、市議会における会派に対し交付されている。

政務活動費については、全国の地方議会で不適切な支出が相次いで発覚するなど、住民にとって非常に関心が高いものとなっている。

市議会では、その使途基準等を定めた「政務活動費の手引き」を策定し、毎年度、社会情勢に応じて見直しを行っているほか、議長監査を実施し、領収書等証書類の厳正な調査を行うなど、政務活動費制度の厳格な運用に努められているところである。

今後においても、市民の理解が一層得られるよう、より透明性の高い情報の整理及び確保に努められるとともに、引き続き社会情勢に応じて使途基準等の見直しをされ、議案の審査や政策立案等についての調査研究活動に更なる有効活用を図られるよう要望する。

市議会事務局行政監査の結果について

I 監査のテーマ

「準公金の取扱いについて」

(選定の理由)

本市においては、市職員が職務の遂行上やむを得ず、地域団体等の公金以外の現金等（以下「準公金」という。）を取り扱っている事例がある。このような準公金は、法令の規定を根拠に管理をしているものでないことから、明石市財務規則も適用されていない。

また、準公金について、その取扱いに関する統一的なルールはなく、所管部署がそれぞれ独自に管理されているのが現状である。

しかしながら、こうした準公金は、公金と同様、適正に管理されていなければならない。管理上の問題があれば、市の責任が問われることになる。

そのため、準公金の取扱いに関する事務について、行政監査を実施することとした。

II 監査の期間

平成27年1月6日から平成27年3月24日まで

III 監査の範囲

監査事務局の予備監査時点における準公金の取扱いに関する事務

IV 監査の方法

事前に行った「公金外現金等の取扱いに係る実態調査」の結果に基づき、市議会事務局各課から関係書類等について調査確認し、必要に応じて関係職員の説明を聴取する方法により、監査を実施した。

監査の対象事項としては、以下のとおりである。

- (1) 準公金の取扱状況について
- (2) 準公金の取扱金額について
- (3) 準公金の管理状況について
- (4) 準公金の事務処理について

(5) 今後の取扱いについて

V 監査委員の除斥

地方自治法第199条の2の規定により、同条に規定する事件については、辰巳浩司監査委員及び寺井吉広監査委員を除斥した。

VI 監査の結果

市議会事務局で取り扱っている準公金のうち、総務課2件の監査を実施した結果、おおむね適正に執行されているものと認められ、事務処理上、特に指摘する事項はなかった。